

Twitter の用途に関する研究

プロジェクトマネジメントコース・ソフトウェア開発管理グループ 矢吹研究室 1242131 吉野聡志

1. 研究の背景

世界的に人気の SNS(Social Networking Service) のひとつとして Twitter が存在する．2015 年 6 月 30 日現在，月間アクティブユーザは 3 億 1600 万人という多さである [1]．

ユーザが「つぶやき」と呼ばれる 140 字以内の短い記事を書き込むことが可能でまた，他の不特定多数のユーザがそれを閲覧することができる．さらに，つぶやきに返信をすることで一種のコミュニケーションが生まれる．他のユーザのつぶやきを追跡することを「フォローする」といい，自分とフォローしたユーザのつぶやきが同一の画面上にリアルタイムで，時系列に沿って表示される．この画面はタイムラインと呼ばれる．フォローをするのに相手の承認は不要で，自分が閲覧していない間もタイムラインが常に流れていくことから，「ゆるいつながり」が生まれるとされている．

Twitter を利用するスタイルはユーザによって千差万別で，日々の生活について 1 日から数日程度に 2，3 回ほどつぶやく人がいれば，複数ユーザとの会話で 1 日に数十から数百ものつぶやきをし，チャットのように利用するユーザもいる．SNS の中でもアクティブユーザ数が非常に多い Twitter に対し，ユーザである人々が顕在的・潜在的に持っているニーズが何であるかが分かれば，他の SNS(Facebook 等) との差別化を図りやすくなり，より効率的なマーケティングの手法を Twitter 社や，Twitter 上に広告を打ち出す企業に提案できるのではないかと考えられる．

2. 目的

1．で述べた，人々が持つ顕在的・潜在的なニーズを引き出すとともに，現状として Twitter が社会の中でどのような役割を果たしているか，またどのような経済効果をもたらしているかについて知ることを今回の研究の目的とする．

3. 研究方法

自らが利用する Twitter アカウントでフォローしているタイムラインを，Twitter の Streaming API を用いて丸 1 日分収集し，各ユーザのつぶやきを分析する．

また，矢吹研究室に所属している 3 年生のうち，Twitter をアクティブに利用しているユーザを対象に，各自同様の方法でつぶやきを収集してもらい，そのデータも分析に利用する．

4. 成果物のイメージ

当研究で収集したつぶやきから，Twitter を利用するユーザの傾向（年齢，性別や趣味が何であるかなど）や，どのような内容のつぶやきが多いかを明確にし，そこから分かることや考察を成果物とする予定である．

5. 進捗状況

Linux ディストリビューションの 1 つである Ubuntu 上で，Python というプログラム言語で作成したプログラムを使用し，友人の協力を得て複数ユーザのタイムラインをリアルタイムに取得することに成功した．

6. 今後の計画

今回の研究に携わる矢吹研究室の 3 年生とともにつぶやきを収集したのち，つぶやきの内容をはじめ，つぶやいたユーザの詳細やフォロー・フォロワーの関係等を調査・分析する予定である．

参考文献

- [1] Twitter, Inc. Twitter, inc. について | about. <https://about.twitter.com/ja/company>(参照 2015-09-16).